

■ 大学院学生募集要項(願書含む)の請求方法

テレメール(インターネット・自動音声応答電話)でご請求ください。

① パソコン・スマホ・ケータイ、電話でアクセスしてください。


テレメール


パソコン・スマホ・ケータイなら
<http://telemail.jp>


バーコード


自動音声応答電話なら
IP電話 050-8601-0101 (24時間受付)
※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。

② 大学院学生募集要項の資料請求番号を入力してください。

資 料 名	資料請求番号	料金(送料含む)	発送開始日
大学院案内	569480	140円	5月22日
大学院募集要項(看護学研究科)	589480	215円	
大学院募集要項(看護学研究科)・大学院案内	549580	250円	
大学院募集要項(診療放射線学研究科)	600500	215円	
大学院募集要項(診療放射線学研究科)・大学院案内	600510	250円	

※料金はお届けする資料に同封されている料金支払い用紙の支払方法に従い、表示料金をお支払いください。(支払いに際して手数料が別途必要となります。)料金は資料の重量変更により変更になる場合がありますので予めご了承ください。

※料金のお支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。なお、支払い手数料が別途必要です(コンビニ支払いは86円。ゆうちょ銀行・郵便局のATM扱いは80円、窓口扱いは130円。ケータイ払いは50円。クレジットカード払いは50円)。また、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。

③ ガイダンスに従ってお届け先等の登録を行ってください。

テレメールのパスワードをお持ちの方は不要です。

請求してから1～2日で資料が届きます

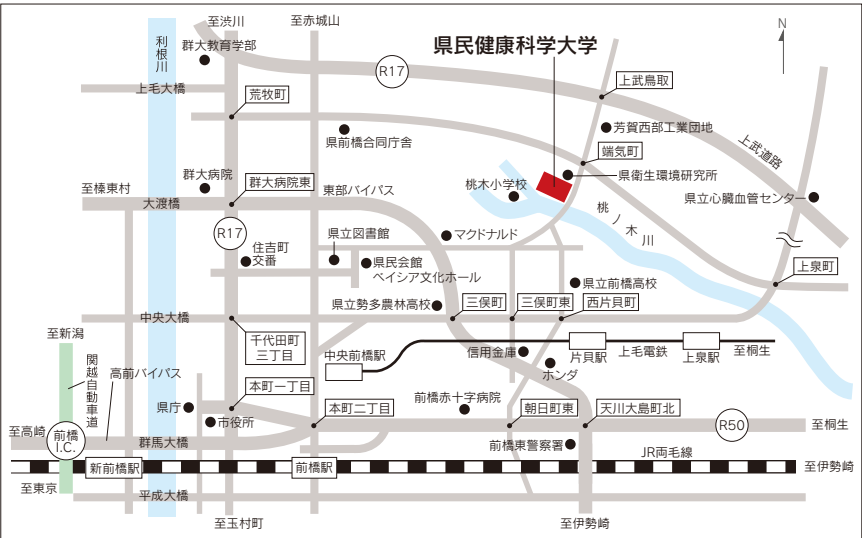
※発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては3日以上かかる場合もあります。

テレメールでの資料請求における資料のお届け・個人情報に関するお問い合わせ・お申し出先

テレメールカスタマーセンター **IP電話 050-8601-0102**(受付時間 9:30～18:00)まで

次の各窓口でも請求できます。

県民健康科学大学事務局 ・群馬県庁2F県民センター ・群馬県行政県税事務所
群馬県(保健)福祉事務所



access

【公共交通機関】

- JR「前橋駅」北口6番乗り場、永井バス小坂子、または荻窪公園行き「県民健康科学大学前」下車
- 上毛電鉄「片貝駅」から徒歩約15分

【自動車】

- 関越自動車道「前橋I.C.」から約20分

 **群馬県立県民健康科学大学大学院**
Gunma Prefectural College of Health Sciences Graduate School

〒371-0052 前橋市上沖町323-1 Tel.027-235-1211(代表) Fax.027-235-2501

URL <http://www.gchs.ac.jp/> E-mail: info@gchs.ac.jp

 **群馬県立**

県民健康科学大学大学院



**Gunma Prefectural College of Health Sciences
Graduate School 2018**



本学全景を動画で
ご覧ください▶



大学院のあゆみ

平成21年	4月	群馬県立県民健康科学大学大学院 修士課程開設(看護学研究科、診療放射線学研究科)
平成28年	4月	博士後期課程開設(看護学研究科、診療放射線学研究科) 修士課程を博士前期課程に改称

大学院のプロフィール

●看護学研究科 看護学専攻(博士前期課程)

入学定員	修業年限	学 位
8名	2年※	修士(看護学)

※最長4年まで長期履修可

医療機関などで院内教育や管理に携わる実践的指導者となる人材を育成

看護学専攻(博士後期課程)

入学定員	修業年限	学 位
2名	3年※	博士(看護学)

※最長6年まで長期履修可

学術的基盤に基づく管理・教育・研究の視点から看護の発展に貢献できる人材を育成

●診療放射線学研究科 診療放射線学専攻(博士前期課程)

入学定員	修業年限	学 位
3名	2年※	修士(放射線学)

※最長4年まで長期履修可

CT・MRI・重粒子線治療など高度化が進む医療機器に対応した高度な知識・技術を持つ人材を育成

診療放射線学専攻(博士後期課程)

入学定員	修業年限	学 位
2名	3年※	博士(放射線学)

※最長6年まで長期履修可

診療放射線学分野の臨床研究者及び教育者、並びに高度医療専門職のリーダーを育成



学長 高田 邦昭 Kuniki Takata

群馬県立県民健康科学大学は、群馬県民の「健康生活への夢の実現」という大きな期待を受け、平成17年に開学しました。医療技術の高度化・専門化が進み、県民の医療に対する需要も多様化する中で、本学は地域の医療福祉水準の一層の向上に寄与するため、平成21年に大学院修士課程(現博士前期課程)を開設しました。さらに、平成28年には大学院博士後期課程を設置し、一段と高度化していく保健医療や教育の現場で活躍するリーダー(博士)の育成に取り組んでいます。

本学の大学院には、看護学研究科と診療放射線学研究科の二つの研究科があり、看護学・診療放射線学の理論・応用の教授・研究を通じて、高度な知識・技術を身につけます。看護学研究科では、医療機関等における実践的指導者養成とともに、学術的基盤に基づく管理・教育・研究の視点から看護の発展に貢献できる人材を養成します。診療放射線学研究科では、高度な医療機器に対応する人材養成とともに、臨床研究者や教育者ならびに高度医療専門職リーダーの育成を行います。

本学の大学院は、医療の現場で活躍中の方々をはじめとして、社会人にも広く門戸が開かれています。職業を持つ方々のための社会人入試や、入学後も仕事をしながら計画的に授業を受けられるよう、夜間開講、集中講義等の多様な授業方法を展開しています。

修士、博士をめざす皆さんの入学を心よりお待ちしております。

地域の保健医療水準の向上に寄与します。

社会人の積極的な受入れ

- ▶ 入学試験では、社会人特別選抜試験を実施します。
- ▶ 夜間にも授業を開講し、仕事を続けながら修学できるよう配慮します。
- ▶ 博士前期課程は、2年間相当の授業料のまま修業年限を最大4年まで、博士後期課程は、3年間相当の授業料のまま修業年限を最大6年まで延長できる長期履修制度を設けています。
- ▶ 短期大学、専門学校、各種学校の卒業者に対しても入学試験の出願資格を付与※します。
※本学が行う審査により、受験資格があると認められた方が対象。
- ▶ 科目等履修生となり、入学前に単位を取得することもできます。

博士前期課程

Master's Program in Nursing

修業年限2年	入学定員8名	学位：修士(看護学)
--------	--------	------------

平成30年度 キャリア開発コース新設！

科学的根拠に基づく実践（Evidence-Based Practice）の実現を目的とし、より質の高い看護を提供するための研究ができる人材及び系統立てた看護・教育を実践できる人材の育成を目指します。



実践看護学構築論Ⅰの授業風景

博士後期課程

Doctoral Program in Nursing

修業年限3年	入学定員2名	学位：博士(看護学)
--------	--------	------------

自立的に研究を行い、看護実践に役立つ専門性の高い知識を産出し、学術的基盤に基づく管理・教育・研究の視点をもって看護の機能を発展させることに貢献するとともに、その成果を他の看護職者に普及できる人材の育成を目指します。



実践看護学特論の授業風景

特色

看護学研究者の育成に加え、大学や専門学校など看護職養成機関の看護学教員として必要な教育実践力、または、教育管理責任者として必要な組織運営力を担える人材の養成を目指した『キャリア開発コース』を新設する点が大きな特色です。

- 看護学研究科に『リサーチコース』及び『キャリア開発コース』を置きます。また、『リサーチコース』には実践看護学領域と看護教育学領域、『キャリア開発コース』には看護教育学領域があります。
- より質の高い看護を提供するための教育及び研究を展開します。
- 看護学教員の教育能力を養うための教育及び研究を展開します。
- 院内教育を企画し実践できる能力を養う教育及び研究を展開します。

教育研究領域と担当教員

研究科長 ● 巴山 玉蓮

領域	教員名	研究課題・主な研究テーマ
実践看護学	教 授 肥後 すみ子	看護技術学に関する研究課題
	教 授 行田 智子	妊娠期～産褥期・育児期にある人とその家族への看護に関する研究課題
	教 授 横山 京子	小児期にある人々への看護、小児看護学教育に関する研究課題
	教 授 中西 陽子	がん及び他疾患の急性期・慢性期・終末期にある成人期の人々とその家族への看護に関する研究課題
	教 授 狩野 太郎	老年期にある人々への看護、老年看護学に関する研究課題および、がん化学療法看護に関する研究課題
	教 授 齋藤 基	地域看護活動、在宅看護活動に関する研究課題
	教 授 巴山 玉蓮	看護政策管理に関する研究課題
	教 授 石川 良樹	ロコモティブシンドローム等の運動機能の改善に関する研究課題
	教 授 宮崎 有紀子	ヘルスプロモーション、健康づくり支援活動に関する研究課題
	教 授 高井 ゆかり	老年看護学や疼痛管理に関する研究課題
看護教育学	准教授 廣瀬 規代美	成人看護学やがん看護に関する研究課題
	准教授 大澤 真奈美	公衆衛生看護（保健師活動）、精神障害を持つ者への訪問看護に関わる研究課題
	准教授 飯田 苗恵	在宅看護、難病看護に関わる研究課題
	教 授 松田 安弘	看護基礎教育・継続教育に関する研究課題
	教 授 山下 暢子	看護基礎教育・継続教育に関する研究課題
	准教授 服部 美香	看護基礎教育・継続教育に関わる研究課題

特色

- 看護の機能の発揮に必要な能力・質の高い教育の提供に必要な能力・研究遂行に必要な能力の修得に関わる専門科目を設定し、これらの履修により得られた学修成果が「特別研究」に統合され、段階的に能力を獲得できるカリキュラムを編成している点が大きな特色です。
- 多職種と協働して組織運営に参画し、管理的機能を発揮するための教育及び研究を展開します。
 - 高等教育としての看護教育に精通し、専門的知識・技術と指導力を駆使して質の高い教育を実践するための教育及び研究を展開します。
 - 臨床現場に存在する多様かつ複雑な問題の解明とその成果の適用を通し、組織内の研究活動を推進するための教育及び研究を展開します。

教育研究領域と担当教員

研究科長 ● 巴山 玉蓮

領域	教員名	研究課題・主な研究テーマ
機能発展看護学	教 授 齋藤 基	地域看護活動、在宅看護活動に関する研究課題
	教 授 巴山 玉蓮	看護政策管理に関する研究課題
	教 授 松田 安弘	看護教育に関する研究課題
	教 授 山下 暢子	看護教育に関する研究課題
	教 授 石川 良樹	ロコモティブシンドローム等の運動機能の改善に関する研究課題
	教 授 宮崎 有紀子	ヘルスプロモーション、健康づくり支援活動に関する研究課題
	教 授 高井 ゆかり	老年看護学や疼痛管理に関する研究課題

博士前期課程 授業科目					
共通科目 [6～8単位]		専門科目 [12～14単位]		学位論文 [12単位]	
リサーチ コース	看護学研究方法論Ⅰ *	[2単位]	実践看護学領域 実践看護学構築論Ⅰ	特別研究 [12単位]	
	看護学研究方法論Ⅱ *	[2単位]			[2単位]
	研究と倫理 *	[2単位]			
	教育と倫理 *	[2単位]			
	看護政策管理論 *	[2単位]			
キャリア開発 コース	保健医療特論	[2単位]	看護教育学領域 【看護学教員キャリア開発】 教育実践演習Ⅰ 【教育管理者キャリア開発】 課題発見実習	課題研究 [12単位]	
	保健医療安全学特論	[2単位]			[2単位]
	専門職教育展開論Ⅰ *	[2単位]			[4単位]
	専門職教育展開論Ⅱ *	[2単位]			など
		など			
リサーチコース					
科学的根拠に基づく看護・教育実践の実現に向けた研究成果を産出するとともに、その活用による質の高い実践を展開できる能力の修得を目指します。					
キャリア開発コース					
看護師として5年以上の実務経験のある教員のキャリア・ディベロップメントに向け、教授活動及び組織運営を実践できる能力の修得を目指します。 (専任教員養成講習会・教務主任養成講習会の認定を受ける予定です)					

博士後期課程 授業科目			
両研究科共通科目 (2単位以上を履修)	専門科目 (6単位以上を履修)	特別研究	修了要件
保健医療組織管理学特論 [2単位]	〈必修〉 看護政策管理学特論 [2単位] 看護教育学特論 [2単位] 実践看護学特論 [2単位] 〈選択〉 看護専門職の役割と責務 [2単位] 倫理学特別演習 [2単位] ブレFD特別演習 (大学教員としての基礎) [2単位]	特別研究Ⅱ [6単位]	本研究科に3年以上在籍し、所定の単位(16単位以上)を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で博士論文の審査及び最終試験(口頭試験)に合格することが要件です。
			履修方法
			(1) 特別研究Ⅱ(6単位)を必修科目として履修します。 (2) 専門科目のうち、看護政策管理学特論、看護教育学特論、実践看護学特論(3科目6単位)を必修科目として履修します。 (3) (1)(2)以外の科目(4単位以上)を選択科目として履修します。 ※なお、年間の履修単位は10単位(集中講義及び特別研究Ⅱは含めない)を上限とします。

博士前期課程

Master's Program in Radiological Technology

修業年限2年	入学定員3名	学位：修士（放射線学）
--------	--------	-------------

特別研究を通じて、診療放射線学の発展に貢献しつつ高度医療専門職者、研究者及び教育者としての基礎的能力を持つ人材を育成します。



機能画像学特論の授業風景

博士後期課程

Doctoral Program in Radiological Technology

修業年限3年	入学定員2名	学位：博士（放射線学）
--------	--------	-------------

診療放射線学に資する高度な研究能力を有し、研究成果を、群馬県をはじめ全国各地域の放射線診療に創造性をもって展開できる次の人材を育成します。

- 診療放射線学の研究を展開できる臨床研究者の養成
- 高度な教育指導力を備えた大学教員の養成
- チーム医療を積極的に推進できる放射線技術部門のリーダーの養成



診療放射線学特別研究の様子

特色

我が国で唯一の「診療放射線学部」を基盤とし、放射線画像検査学、放射線治療学等の臨床に即した学術研究を積極的に行うことにより、人々の健康支援、疾病の早期発見、治療効果の向上に寄与する人材を育成するとともに、診療放射線学のさらなる発展に貢献します。

- 診療放射線学研究科に放射線画像検査学分野と放射線治療学分野を置きます。
- 画像処理並びに画像解析技術の育成に重点を置いた教育及び研究を展開します。
- 画像評価並びに読影能力の育成に重点を置いた教育及び研究を展開します。
- 重粒子線治療プロジェクト等に参画可能な研究能力を養う教育及び研究を展開します。

教育研究分野と担当教員

研究科長 ● 柏倉 健一

分野	教員名	研究課題・主な研究テーマ
放射線画像検査学	教 授 青木 武生	膜輸送と放射線の作用に関する研究 腫瘍細胞と抗がん剤の効果に関する研究
	教 授 上原 真澄	造影検査におけるマイクロデバイス開発に関する研究課題 生体物質の糖化と評価方法に関する研究課題 診療放射線技術における職場教育に関する研究課題
	教 授 小倉 明夫	磁気共鳴画像及びMRI検査に関する研究課題
	教 授 小倉 敏裕	診療放射線画像の解析に関する研究課題
	教 授 柏倉 健一	脳機能測定に関する研究課題
	教 授 下瀬川 正幸	医療画像情報学に関する研究課題 診療放射線学教育学に関する研究課題
	教 授 瀬川 篤記	医療従事者の多職種連携に関する研究課題 医療安全に関する研究課題
	准教授 佐藤 哲大	生体医学に関する研究課題
	准教授 大崎 洋充	核医学技術に関する研究課題
	准教授 長島 宏幸	医用画像処理技術に関する研究課題
放射線治療学	准教授 根岸 徹	放射線診断装置に関する研究課題
	准教授 林 則夫	画像診断検査法及び医用画像解析に関する研究課題
	准教授 渡部 晴之	医用画像処理に関する研究課題
	講 師 寺下 貴美	医療情報学に関する研究課題 診療放射線学教育学に関する研究課題
	教 授 佐々木 浩二	放射線治療技術学、放射線計測学に関する研究課題
	教 授 原 孝光	放射線による殺細胞効果の増感に関する研究
	准教授 五十嵐 博	放射線治療及び診療放射線部門における組織・品質マネジメントに関する研究課題
	准教授 大野 由美子	放射線物理学、放射線計測学に関する研究課題
	准教授 杉野 雅人	環境放射線（能）計測および管理・防護に関する研究課題

特色

学士課程から博士前期課程へと続く人間の尊重を重んじた教育を基盤として、臨床に即した学術研究を積極的に遂行することを通じて、人々の健康支援、疾病の予防、治療効果の向上への寄与を目指すと同時に、診療放射線学のさらなる発展に貢献します。

- 診療放射線学研究科に放射線画像検査学分野と放射線治療学分野を置きます。
- 画像処理並びに画像解析の研究開発能力の育成に重点を置いた教育及び研究を展開します。
- 高精度放射線治療の実践・推進・開発能力の育成に重点を置いた教育及び研究を展開します。
- 放射線技術部門のリーダー育成に重点を置いた教育及び研究を展開します。

教育研究分野と担当教員

研究科長 ● 柏倉 健一

分野	教員名	研究課題・主な研究テーマ
放射線画像検査学	教 授 青木 武生	膜輸送と放射線の作用に関する研究 腫瘍細胞と抗がん剤の効果に関する研究
	教 授 上原 真澄	造影検査におけるマイクロデバイス開発に関する研究課題 生体物質の糖化と評価方法に関する研究課題 診療放射線技術における職場教育に関する研究課題
	教 授 小倉 明夫	磁気共鳴画像及びMRI検査に関する研究課題
	教 授 小倉 敏裕	診療放射線画像の解析に関する研究課題
	教 授 柏倉 健一	脳機能測定に関する研究課題
	教 授 下瀬川 正幸	医療画像情報学に関する研究課題 診療放射線学教育学に関する研究課題
	教 授 瀬川 篤記	医療従事者の多職種連携に関する研究課題 医療安全に関する研究課題
	准教授 佐藤 哲大	生体医学に関する研究課題
	准教授 大崎 洋充	核医学技術に関する研究課題
	准教授 根岸 徹	医用画像機器の特性解析及び医療被ばくと画質の最適化に関する研究課題 診断用X線装置の品質保証及び計測に関する研究課題
放射線治療学	准教授 林 則夫	画像診断検査法及び医用画像解析に関する研究課題
	准教授 渡部 晴之	医用画像処理に関する研究課題
	講 師 寺下 貴美	医療情報学に関する研究課題 診療放射線学教育学に関する研究課題
	教 授 佐々木 浩二	放射線治療技術学、放射線計測学に関する研究課題
	教 授 原 孝光	放射線による殺細胞効果の増感に関する研究
	准教授 五十嵐 博	放射線治療及び診療放射線部門における組織・品質マネジメントに関する研究課題
	准教授 大野 由美子	放射線物理学、放射線計測学に関する研究課題
	准教授 杉野 雅人	環境放射線（能）計測および管理・防護に関する研究課題

博士前期課程 授業科目			
共通科目	放射線画像検査学分野	放射線治療学分野	修了要件
診療放射線学特論	専門科目 6単位以上を履修	専門科目 6単位以上を履修	本研究科に2年以上在籍し、所定の単位（30単位以上）を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び最終試験（口頭試験）に合格することが要件です。
研究方法論と基礎統計学	磁気共鳴学特論	放射線治療学特論	
放射線画像解剖学特論	造影検査学特論	先端放射線治療学特論	履修方法 放射線画像検査学分野又は放射線治療学分野のいずれかに所属し、所属分野の専門科目から6単位以上と、特別研究12単位を必ず履修し、残りの12単位は他の専門科目（所属分野以外の専門科目を含む）又は両研究科共通科目から選択履修します。なお、年間の履修単位は24単位（集中講義及び特別研究は含めない）を上限とします。
放射線学シミュレータ特論	放射線画像技術学特論	放射線生物学特論	
保健医療特論	放射線画像解析学特論Ⅰ	放射線管理計測学特論	
保健医療安全学特論	放射線画像解析学特論Ⅱ	放射線安全管理特論	
専門職教育展開論Ⅰ	機能画像学特論	重粒子治療技術学演習	
専門職教育展開論Ⅱ	核医学検査技術学特論		
研究と倫理	医療画像情報学特論		
教育と倫理			
	特別研究 診療放射線学特別研究〔12単位〕		

博士後期課程 授業科目			
共通科目〔2単位以上を履修〕	放射線画像検査学分野	放射線治療学分野	修了要件
診療放射線学教育学特論	専門科目 2単位以上を履修	専門科目 2単位以上を履修	本研究科に3年以上在籍し、所定の単位（12単位以上）を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で博士論文の審査及び最終試験（口頭試験）に合格することが要件です。
保健医療組織管理学特論	放射線画像解剖学特講演習	先端放射線治療学特講演習	
	放射線画像解析学特講演習	重粒子治療技術学特講演習	履修方法 放射線画像検査学分野又は放射線治療学分野のいずれかに所属し、共通科目から2単位以上、所属分野の専門科目から2単位以上、特別研究6単位を必ず履修し、残りの2単位は他の共通科目又は専門科目（所属分野以外の専門科目を含む）から選択履修します。なお、年間の履修単位は8単位（集中講義及び特別研究は含めない）を上限とします。
	磁気共鳴学特講演習	放射線管理計測学特講演習	
	造影検査学特講演習		
	機能画像学特講演習		
	医療画像情報学特講演習		
	特別研究 診療放射線学特別研究〔6単位〕		

博士前期課程

自分にしか出来ない研究を考えて
いきたい

岡崎 友香さん〈群馬中央病院勤務〉
看護学研究科 看護学専攻 実践看護学 (H28年度入学)



私は、看護部の教育を担う師長として働きながら、長期履修制度を利用し大学院に通っています。前任者からこの役割を引き継いだ時から、ずっと「この教育で良いのか」、「評価は適当なのか」と自信を持てずにいました。そんな時、知人から看護教育学を学べる本学を勧められ、進学を決意しました。

大学院での授業は、授業に出席している時間と同じ、もしくはそれ以上の自己学習時間が必要となるため、仕事後や休日に学習しなければならないので大変です。しかし、立場の違う仲間とのディスカッションや担当教員の助言を通し、いろいろな考えに触れ、学びを深めています。また、学んだことをすぐに現場に還元できることが臨床で働きながら進学するメリットだ

と実感しています。

現在、私は、非常勤看護師への教育的支援をテーマに研究に取り組んでいます。担当教員から「岡崎さんにしか出来ない研究があるはず」という助言を受け、自分にしか出来ない研究を進めていけたらと考えています。

臨床で教育を担う多くの方々は、私と同じように悩んでいることが多いのではないかと思います。悩んでいるのであれば、本学で看護教育学を学ぶことをお勧めします。教育の質が上がれば看護の質も上がり、何よりも自信を持って教育に携わることが出来るようにきつ々々と思っています。

博士前期課程

専門職として成長するために

奈良 定広さん〈渋川総合医療センター勤務〉
診療放射線学研究科 診療放射線学専攻 放射線治療学 (H28年度入学)



私が新卒として医療機関で働き始めた頃は、日々の業務に追われていたこともあり、より高度な専門知識を学ばなければという意識はありませんでした。社会人としてある程度の素地ができた頃、新しい機器やシステムを導入して業務を行えるようになると、自分のやりたいことや身につけたい知識といったものが少しずつ明確になり、自分が磨きたい分野の専門的な知識を修得したいと思うようになりました。特に研究に関しての知識が乏しく、研究の進め方を学ぶ必要があると日々感じていました。また、職場でも4年制大学を卒業した技師が増え、後輩たちに対しても責任のある立場で適切な指導を行う必要があると思い、社会人学生として仕事をしながら学ぶことのできる本学大学院へ進学することを

決意しました。

大学院では放射線治療における品質管理方法の検討を研究テーマとして指導教員からアドバイスをもらいながら研究を行っています。授業では私の専門とする分野以外の科目も積極的に履修しています。他分野の科目を履修することにより、日々の業務につながる知識を数多く学ぶことができ、さらに自分の研究につながる知識も修得することができます。

社会人として日常業務を行いながら大学院で学び研究することは容易なことではありませんが、この経験を通して専門職、研究者としてより大きく成長していけるのではないかと感じています。

博士後期課程

大学教員としての可能性を拡げる
ために

赤堀 八重子さん〈高崎健康福祉大学勤務〉
看護学研究科 看護学専攻 機能発展看護学 (H28年度入学)



私は現在、大学の教員として看護系大学に勤務し、5年が経過しましたが、教育及び研究の実践に当たり悩むことも多く、教員としての能力を向上させる必要性を痛感していました。そこで、質の高い教育の提供及び研究を自律的に遂行するために必要な能力を修得したいと考え、本学の博士後期課程への進学を決意しました。入学に当たっては、仕事と学業の両立のために、長期履修制度を利用することといたしました。1年次を修了したところですが、博士後期課程での学修は、知識や技術を修得することの楽しさを感じるとともに、貴重な知的財産となっています。

博士論文作成のための特別研究の授業は、博士前期課程に比較し、高度な知識や技術が求められますが、指導教員の先生方

の丁寧かつ熱心なご指導のおかげで、研究を遂行する充実感を得ながら学習に取り組んでいます。私は、現場において市町村保健師として勤務している頃から生活習慣病に関心があり、研究テーマは生活習慣病の予防に焦点を当てています。博士後期課程では修士論文を発展させ、特定保健指導の場で活用する尺度を開発したいと考えています。

今後は博士論文を完成させるとともに、生活習慣病予防に関する研究を継続し、その成果を地域に還元することを目指しています。また、博士後期課程の学習成果を活用し、学生に対して科学的な根拠に基づく授業を提供するなど、看護専門職者の育成のために貢献したいと考えています。

博士後期課程

挑戦し続けるという充実した毎日

佐藤 充さん〈前橋赤十字病院勤務〉
診療放射線学研究科 診療放射線学専攻 放射線画像検査学 (H28年度入学)



私が博士後期課程に進学しようと考えたきっかけは、研究の楽しさを博士前期課程で実感したからでした。就職と博士後期課程の入学が重なるため、今までとは比べ物にならないほどの忙しさとなるだろうという不安がありましたが、指導教員の勧めと励ましにより進学を決意しました。結果、私は前橋赤十字病院に勤務すると同時に進学し、研究活動続ける毎日を送っています。また、職場の理解があり、いつも助けていただいているため私は頑張り続けることが出来ており、充実した毎日を送っています。

私の研究内容は、『各種身体データの検出による画像表示装置を始めとするマルチ入力コンピュータ操作技術の開発』です。博士前期課程に引き続き、脳波や視線検出によって画像表示装置などを操作する

ことのできるソフトウェア開発を行っています。研究で悩み、行き詰ったときはやはり先生方が励まし、アドバイスをしてくださるため今まで不安になることなく研究に一生懸命に取り組むことが出来ました。

こうして研究を行うことで出来た人との繋がりや、何かに本気になるということが私の人生において大きな影響を与えたように思います。また、本学の先生方は幅広く活躍していらっしゃる、人として尊敬することのできる先生方ばかりです。研究活動や大学院の授業を通して研究に対する姿勢やこの学問の奥深さと面白さを再発見できたように思います。これからも診療放射線技師として社会に貢献するだけでなく、いつか研究者としても世界に貢献できるように頑張りたいと思います。

平成30年度 博士前期課程

選抜区分	一般選抜		社会人特別選抜
修業年数	2年(但し、長期履修制度適用の場合は最長4年)		
募集人員	看護学研究科看護学専攻…………… 8名 診療放射線学研究科診療放射線学専攻…………… 3名	看護学研究科看護学専攻…………… 若干名 診療放射線学研究科診療放射線学専攻…………… 若干名	
出願資格	次の①から⑤までのいずれかに該当する者 看護学研究科(リサーチコース)及び診療放射線学研究科 ① 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者又は平成30年3月31日までに卒業見込みの者 ② 学校教育法第102条第2項に該当する者であって、本学大学院において所定の単位を優秀な成績で修得したと認めた者 ③ 学校教育法施行規則第155条第1項第1号から第6号までのいずれかに該当し、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められるもの ④ 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、その後に入学者させる本学大学院において、本学大学院における教育を受けるにふさわしい学力がある者と認めたもの ⑤ 本学大学院において個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月31日までに22歳に達するもの	看護学研究科 (1) リサーチコース 保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁又は企業において、専門的な実務経験を有し、常勤で在職している者で、かつ、一般選抜試験出願資格①から⑤までのいずれかに該当するもの (2) キャリア開発コース 保健師・助産師・看護師のいずれかの資格を有し、保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁又は企業において専門的な実務経験を有し、常勤で在職している者で、かつ、一般選抜試験出願資格①から⑤までのいずれかに該当するもの 診療放射線学研究科 保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁又は企業において、専門的な実務経験を有し、入学後もその身分を継続する者で、かつ、一般選抜試験出願資格①から⑤までのいずれかに該当するもの (注) 出願資格のうち「一般選抜」の②、④又は⑤により出願を行うとする者(「社会人特別選抜」において「一般選抜」の②、④又は⑤に該当するものとして出願を行おうとする者を含む。)は、あらかじめ個別の出願資格認定審査を受け、合格した場合に出願することができる。	
出願前面談期間	随時(指導を受けようとする教員と出願前に面談が必要。但し出願資格認定審査が必要な場合は出願資格認定審査の申請に間に合うように面談をしてください。)		
出願資格認定審査申請期間	平成29年7月14日(金)～7月26日(水) ②、④又は⑤により出願を希望する者。7月26日付消印有効)		
出願期間	平成29年8月 4 日(金)～8月17日(木)(郵送による出願。8月17日付消印有効)		
入学試験	試験期日	平成29年9月 2 日(土)(予備日 平成29年度9月3日(日))	
	試験会場	群馬県立県民健康科学大学(〒371-0052 前橋市上沖町323番地の1)	
	選抜方法	看護学研究科	・「外国語」(英和辞典の持込み可。但し電子辞書は不可) ・「小論文」 ・「口述試験」 ・書類審査
		診療放射線学研究科	・「外国語」(英和辞典の持込み可。但し電子辞書は不可) ・「口述試験」 ・書類審査
合格発表日	平成29年9月11日(月)		
入学手続期間	平成29年9月26日(火)～10月2日(月)(郵送、10月2日必着)		
入学試験料	30,000円		
授業料等(平成29年4月1日現在)	入学科(県内者：入学科について群馬県内者は半額)141,000円 (県外者)282,000円 / 授業料 535,800円(年間) ・夜間開講、集中講義、長期履修制度により、社会人学生の学業と仕事の両立に配慮しています。		

【2次募集】

上記日程による入学者選抜の結果、入学手続者数が募集人員に達しなかった場合は、以下のとおり2次募集を行います。2次募集の有無については、平成29年10月3日(火)以降に本学ホームページ上で公表します。

選抜区分	一般選抜	社会人特別選抜
修業年限・出願資格・試験会場・選抜方法・入学試験料・授業料は1次募集と同様です。		
出願前面接期間	随時(指導を受けようとする教員と出願前に面談が必要。但し出願資格認定審査が必要な場合は出願資格認定審査の申請に間に合うように面談をしてください。)	
出願資格認定審査申請期間	平成29年12月15日(金)～平成30年1月4日(木)(「個別入学資格審査」により出願を希望する者。1月4日付消印有効)	
出願期間	平成30年1月12日(金)～1月25日(木)(郵送による出願。1月25日付消印有効)	
試験期日	平成30年2月10日(土)	
合格発表日	平成30年2月16日(金)	
入学手続期間	平成30年2月26日(月)～3月2日(金)(郵送、3月2日必着)	

平成30年度 博士後期課程

選抜区分	一般選抜		社会人特別選抜
修業年数	3年(但し、長期履修制度適用の場合は最長6年)		
募集人員	看護学研究科看護学専攻…………… 2名 診療放射線学研究科診療放射線学専攻…………… 2名	看護学研究科看護学専攻…………… 若干名 診療放射線学研究科診療放射線学専攻…………… 若干名	
出願資格	次の①から⑧までのいずれかに該当する者、又は次の①から⑧までのいずれかに平成30年3月31日までに該当する見込みの者 両研究科共通 ① 修士の学位又は専門職学位を有する者 ② 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者 ⑥ 外国の学校、出願資格④の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者 ⑦ 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号) ⑧ 本学大学院において個別の入学資格審査により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月31日までに24歳に達するもの		看護学研究科 保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁又は企業において、専門的な実務経験を有し、常勤で在職している者で、かつ、一般選抜試験出願資格①から⑧までのいずれかに該当するもの 診療放射線学研究科 保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁又は企業において、専門的な実務経験を有し、入学後もその身分を継続する者で、かつ、一般選抜試験出願資格①から⑧までのいずれかに該当するもの (注) 出願資格のうち「一般選抜」の⑦又は⑧により出願を行おうとする者(「社会人特別選抜」において「一般選抜」の⑦又は⑧に該当するものとして出願を行おうとする者を含む。)は、あらかじめ個別の出願資格認定審査を受け、合格した場合に出願することができる。
出願前面談期間	随時(指導を受けようとする教員と出願前に面談が必要。但し出願資格認定審査が必要な場合は出願資格認定審査の申請に間に合うように面談をしてください。)		
出願資格認定審査申請期間	平成29年7月14日(金)～7月26日(水)(⑦又は⑧により出願を希望する者。7月26日付消印有効)		
出願期間	平成29年8月4日(金)～8月17日(木)(郵送による出願。8月17日付消印有効)		
入学試験	試験期日	平成29年9月2日(土)(予備日 平成29年度9月3日(日))	
	試験会場	群馬県立県民健康科学大学(〒371-0052 前橋市上沖町323番地の1)	
	選抜方法	看護学研究科	・「外国語」(英和辞典の持込み可。但し電子辞書は不可) ・「口述試験」 ・書類審査
		診療放射線学研究科	・「外国語」(英和辞典の持込み可。但し電子辞書は不可) ・「口述試験」 ・書類審査
合格発表日	平成29年9月11日(月)		
入学手続期間	平成29年9月26日(火)～10月2日(月)(郵送、10月2日必着)		
入学試験料	30,000円		
授業料等(平成29年4月1日現在)	入学科 [*] (県内者：入学科について群馬県内者は半額)141,000円 (県外者)282,000円 / 授業料 535,800円(年間)		
	・夜間開講、集中講義、長期履修制度により、社会人学生の学業と仕事の両立に配慮しています。		

※本学大学院博士前期課程から引き続き博士後期課程に入学される場合は、入学料はかかりません。

【2次募集】

上記日程による入学者選抜の結果、入学手続者数が募集人員に達しなかった場合は、以下のとおり2次募集を行います。2次募集の有無については、平成29年10月3日(火)以降にホームページ上で公表します。

選抜区分	一般選抜	社会人特別選抜
修業年限・出願資格・試験会場・選抜方法・入学試験料・授業料は1次募集と同様です。		
出願前面接期間	随時(指導を受けようとする教員と出願前に面談が必要。但し出願資格認定審査が必要な場合は審査出願資格認定審査の申請に間に合うように面談をしてください。)	
出願資格認定審査申請期間	平成29年12月15日(金)～平成30年1月4日(木) ⑦又は⑩により出願を希望する者。1月4日付消印有効)	
出願期間	平成30年1月12日(金)～1月25日(木)(郵送による出願。1月25日付消印有効)	
試験期日	平成30年2月10日(土)	
合格発表日	平成30年2月16日(金)	
入学手続期間	平成30年2月26日(月)～3月2日(金)(郵送、3月2日必着)	